官民合同で救助訓練

実践的な経験の場を提供

大同産業

解体工事などを手掛ける大同産業（八街市、市原照公社長）は11日、佐倉市八街市酒々井町消防組合と合同で災害対応訓練を実施した。同組合の高度救助隊員ら約30人を招き、災害時にガレキの下に残された人の救助などを想定した、実践的な訓練の場を提供した。

この訓練は、産業廃棄物として受け入れているボックスカルバートなどを、破砕する前に有効活用することはできないかと考えた市原社長が、企業理念である「地域にいいこと、地球にいいこと」に基づいた地域貢献活動の一環として、同消防組合に災害対応の合同訓練を提案し実現した。2020年にスタートし、今年は11月に続く訓練で、通算5回目となる。

市原社長

消防隊員らが要救助者を運び出した

救助訓練を終えて記念撮影

災害時に建物などが倒壊した現場では、消防署の救助隊員がコンクリートの壁に穴をあけ、狭い空間に取り残された人を救助する場合があるが、実際にそのような訓練を行う機会はほとんどないという。そこで倒壊現場に近い状況を作り出すことで事前に隊員らに経験を積ませ、実際の現場で迅速に人命救助にあたることを目的としている。

訓練に先立って同消防組合の鈴木宏司警防課長は、貴重な機会の提供と訓練への協力に感謝を表しつつ、参加した隊員らに実災害での対応能力向上に努めるようげきを飛ばした。

重機操作の連携訓練では、バックホウの前に立った隊員らが、重機の外から操縦者に動作を止めたり、ショベルを動かすなどを意味する手信号を教わる場面がみられた。またブレーカーを使ったコンクリートの穴あけ作業は大変な重労働で、額に汗する隊員らがローテーションでブレーカーを支えるなか、見守る同社社員らが場面ごとに適切な工具などのアドバイスを送った。

要救助者として訓練に参加した市原社長は訓練後の講評で、「自分が救出・運搬される過程で、救助隊員のキビキビとした動きと適切な声かけに非常に安心感を覚えた。今後も地域のために訓練場所の提供は続けていきたい」と語った。また今年5月に自らが理事長に就いた県解体工事業協同組合としても、協力できることがないか模索する意向を示した。

ブレーカーで壁に穴をあける

特養ホーム新築を公告

成田・川栗に延べ8285㎡

邦友会

社会福祉法人邦友会（東京都港区、高木邦格理事長）は、成田市川栗地区での「（仮称）特別養護老人ホーム・介護老人保健施設成田あじさい園新築工事」に関する一般競争入札の手続きを開始した。S造5階建て延べ約8285㎡（建築面積約2319㎡）の施設を新たに整備する。27日まで資格確認資料を受け付け、2023年1月12日の入札参加資格確認結果通知、同月20日の入札・開札などを予定している。

参加者に必要な資格に関する事項をみると、県の建設工事等入札参加業者資格者名簿に登載されているうち建築一式工事について建設業法に定める特定建設業の許可を受けていることや、同名簿における建築一式工事の格付けがA等級で総合点数が1200点以上であること、県内に本店または建設業法にもとづく許可を得た営業所があること、過去15年間にRC造またはS造で延べ面積2500㎡以上の特別養護老人ホーム・介護老人保健施設その他これらに類する施設（高齢者の入所施設に限る）の新築に関する建築一式工事を元請として施工した実績があることなどを求めている。

対象となる敷地は、成田市川栗字馬渡地区にある面積約6922㎡。事業内容は特別養護老人ホーム（100床）、老人短期入所（10床）、介護老人保健施設（100床）、通所リハビリテーション（40人）。工事内容は▽建築▽電気設備▽給排水衛生▽空調換気設備▽昇降機設備▽外構――などとした。工期は23年2月20日から24年5月19日までを予定する。

同工事は、建設工事に係る資材の再資源化などに関する法律にもとづき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化が義務づけられている。設計業務などは、斉藤設計室一級建築士事務所（栃木県那須塩原市）、問い合わせ先は社会福祉法人邦友会の成田特養・老建開設準備室（東京都港区）が務める（詳細は入札公告・公示面、または入落Navi―などを参照）。

庁舎や文化芸術施設など

第3次基本計画で示す

木更津市

木更津市は、「市総合計画第3次基本計画」の素案をまとめた。2022年度で「第2次基本計画」と「第2期まち・ひと・しごと創生法」が満了することから計画期間を23年度から26年度までとする新たな行政指針を示した。庁舎整備事業や文化芸術施設の整備などを重点事業として挙げた。15日から23年1月13日までパブリックコメントを実施する。

重点事業をみると、民間施設の一部を賃貸する庁舎整備事業は、23年度から着手する。また、市の中規模ホール整備基本計画で示すホールの方向性を踏まえ、図書館、公民館などの公共機能や災害時の防災活動の拠点となる機能を複合した文化芸術施設の整備は24年度から実施するとした。

学校関連を見ると、23年度から小中学校のトイレの洋式化、屋上防水、外壁改修など小学校施設の長寿命化を24年度、中学校施設の長寿命化を23年度から進める。

市民交流プラザ（仮称）については、木更津駅周辺庁舎に、多目的スペースや地域活動支援スペースなど、市民が集える交流スペースとして24年度から着手する。

太田山公園の再整備では、サウンディング調査や公募、事業者の選定を23年度から26年度にかけて行うとした。

江川総合運動場の拡張整備は、サッカー場の整備を23年度から実施する予定だ。

高柳出張所と清川分署、旧長須賀分署の統合に伴い、新たな消防署の新規建設は24年度、富来田分署の新規建設事業は23年度から実施するとした。

このほか、富士見通りアーケード撤去、公園のバリアフリー・遊具更新、中の島大橋の改修などを23年度から実施する計画とした。

整備費に約33億円

図書館整備計画で素案

木更津市

木更津市は、「新市立図書館整備計画」の素案をまとめた。現在の図書館の課題を踏まえ、新図書館の整備を目指し、方向性などを示した。整備費に約33億円を見込んでいる。施設整備の面積は、一般開架エリア800㎡、児童エリア190㎡、郷土資料室320㎡、バックヤード710㎡の計2400㎡を目標としている。

整備規模を基に、類似規模の公共図書館整備費用を参考に単独で整備する場合の概算整備費は33億2730万円とし、財源の確保を最優先としつつ、市民のニーズを反映するなど、財政状況のバランスに配慮した整備内容の検討を進める方針だ。

市民アンケートや施設の課題の抽出を基にした図書館機能のイメージは、資料・情報提供、児童サービス、郷土資料の提供、ボランティア活動、デジタルライブラリーをゾーニング。また、市公共施設再配置計画で示す通り、新図書館は複合化することを目指すとした。

運営体制については、直営にもメリットが多いとしながらも、専門性や運営コスト、中長期的なサービス面を考慮すると、指定管理者の導入や、直営と指定管理のハイブリッド型も予想されるとしている。

御宿町補正予算

砂丘橋を点検

石田町長

御宿町（石田義廣町長）が町議会定例会に提出した一般会計補正予算案が可決した。追加する予算規模は、8719万円で、一般会計の総額を41億9548万円とした。砂丘橋の点検や道路排水整備費を計上した。

主な建設関連費は、観光施設整備事業で、橋梁点検委託に264万円を計上した。月の沙漠記念館（六軒町）前にある観光用の歩道橋（砂丘橋）が老朽化しているため、点検を実施する。点検結果を踏まえ、今後の補修方法などの方向性を検討する。

このほか道路新設改良で、排水整備工事130万円を配分した。

内需外需の好調続く

10月 建設機械出荷額

日本建設機械工業会（本田博人会長）は、10月の建設機械出荷金額統計（前年同月比）をまとめ、公表した。内需は2・4％増の876億円、外需は30・5％増の2066億円となった。その結果、内需は4カ月連続の増加、外需は24カ月連続の増加となった。総合計では20・6％増の2942億円となり、24カ月連続の増加となった。

内需について機種別に見ると、トラクタ2・9％増の116億円、建設用クレーン31・4％増の120億円、その他建設機械19・3％増の71億円の3機種と補給部品6・9％増の118億円が増加し、内需全体では2・4％の増加となった。

外需について機種別に見ると、トラクタ42・0％増の222億円、油圧ショベル24・1％増の782億円、ミニショベル43・7％増の391億円、建設用クレーン15・2％増の108億円、コンクリート機械24・7％増の1億円、油圧ブレーカ・圧砕機25・6％増の11億円、その他建設機械41・7％増の265億円の7機種と補給部品28・7％増の259億円が増加した。

地域別に見ると、北米が22カ月連続で増加、アジアが20カ月連続で増加するなど全9地域中5地域で増加し、外需全体では30・5％の増加となった。

業界短信

鈴木建築設計事務所（松戸市）の代表取締役社長には、11月25日の通常総会で任期満了により退任した平山光信氏に代わり、伊貝聡司氏が就任した。同社は1967年の創立。

確かな技術力で建築物に関する企画、コンサルティング、調査、設計、施工監理、メンテナンスに関する技術・経験を積み重ねている。

建設リサイクル法届出

柏市内㊥

正連寺に老人ホーム

創栄産業が店舗新築

柏市では10月までに、さくらコーポレーション（柏市）による正連寺地区での「仮称・介護付き有料老人ホームヒューマンサポート柏の葉新築工事」や、創栄産業（柏市）の柏4丁目での店舗新築計画などに関する、建設リサイクル法による届出書が提出された。主な工事の概要は次の通り。

■建築物に関する新築・増築工事

【仮称・介護付き有料老人ホームヒューマンサポート柏の葉新築工事】
▽発注者＝さくらコーポレーション（柏市）
▽規模＝3階建て延べ3105㎡
▽用途＝有料老人ホーム
▽場所＝正連寺小袋池461-10他
▽元請業者＝桜田建設（柏市）
▽工期＝2023年9月30日
▽届出日＝10月28日

【仮称・創栄産業様柏4丁目計画新築工事】
▽発注者＝創栄産業（柏市）
▽規模＝5階建て延べ1055㎡
▽用途＝店舗
▽場所＝柏4-6-3付近
▽元請業者＝スターツCAM（東京都江戸川区）
▽工期＝23年7月14日
▽届出日＝9月27日

【五香60-1期1～7号棟　新築工事・全7棟中7棟】
▽発注者＝中央グリーン開発（埼玉県越谷市）
▽規模＝2階建て延べ685㎡
▽用途＝戸建住宅
▽場所＝南逆井4-1775-8、1774-9、1775-10、1775-11
▽元請業者＝ポラテック（松戸市）
▽工期＝23年1月10日
▽届出日＝9月29日

【体感すまいパーク柏事務所】
▽発注者＝ポラス（埼玉県越谷市）
▽規模＝2階建て延べ985㎡
▽用途＝事務所、住宅展示場
▽場所＝旭町8-868-1
▽元請業者＝ポラテック（埼玉県越谷市）
▽工期＝23年3月31日
▽届出日＝10月6日

【宿連寺1期新築工事】
▽自主施工者＝一建設（柏市）
▽規模＝2階建て延べ1044㎡
▽用途＝専用
▽場所＝宿連寺397
▽工期＝23年2月28日
▽届出日＝10月21日

【仮称・三井リンクラボ柏の葉A棟3階実装工事・HUG様入居工事】
▽発注者＝H・U・グループ中央研究所（東京都あきる野市）
▽規模＝6階建て延べ215㎡
▽用途＝研究施設
▽場所＝柏の葉6-6
▽元請業者＝清水建設（千葉支店・千葉市中央区）
▽工期＝23年2月28日
▽届出日＝10月25日

■解体工事

【木造2階建て解体工事】
▽発注者＝アイム・ユニバース（東京都杉並区）
▽規模＝2階建て延べ81㎡
▽用途＝住居
▽場所＝根戸417-11
▽元請業者＝レクト（東京都大田区）
▽届出日＝8月8日

【家屋解体工事】
▽発注者＝一建設（東京都練馬区）
▽規模＝2階建て延べ188㎡
▽用途＝専用住宅
▽場所＝松葉町6-41-10
▽元請業者＝ランド・ゼロ（八千代市）
▽届出日＝8月8日

【旧個人邸解体工事】
▽発注者＝シェール（柏市）
▽規模＝2階建て延べ86㎡
▽用途＝住居
▽場所＝松ケ崎字八幡364-19
▽元請業者＝賢工業（松戸市）
▽届出日＝8月1日

【家屋解体工事】
▽発注者＝スターホームズ（柏市）
▽規模＝2階建て延べ111㎡
▽用途＝住居
▽場所＝藤心932-23
▽元請業者＝Demolitionサービス（柏市）
▽届出日＝8月10日

【KSW計画に伴う解体工事】
▽発注者＝安田屋（東京都板橋区）
▽規模＝平屋1995㎡
▽用途＝商業施設
▽場所＝十余二240-1
▽元請業者＝徳栄建設（島根県益田市）
▽届出日＝8月10日

【個人邸木造二階建て解体工事】
▽発注者＝ケイアイスター不動産（柏市）
▽規模＝2階建て延べ108㎡
▽用途＝専用住宅
▽場所＝柏の葉3-10-11
▽元請業者＝MITSUYA CRASHERS（東京都墨田区）
▽届出日＝8月19日

【個人邸軽量鉄骨造二階建て解体工事】
▽発注者＝ケイアイスター不動産（柏市）
▽規模＝2階建て延べ118㎡
▽用途＝専用住宅
▽場所＝増尾8-19-10
▽元請業者＝MITSUYA CRASHERS（東京都墨田区）
▽届出日＝8月19日

【高南台312③LS解体工事】
▽発注者＝オープンハウス・ディベロップメント（東京都千代田区）
▽規模＝3階建て延べ273㎡
▽用途＝店舗
▽場所＝高南台3-12-2
▽元請業者＝志賀興業（東京都葛飾区）
▽届出日＝8月22日

【南柏駅東口案件解体工事】
▽発注者＝新建築（京都市伏見区）
▽規模＝2階建て延べ973㎡
▽用途＝店舗兼事務所
▽場所＝今谷上町71-1
▽元請業者＝コバヤシ（東京都八王子市）
▽届出日＝8月23日

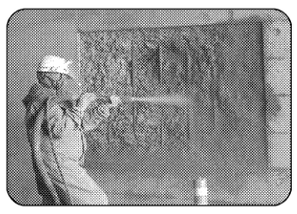
【柏市今谷上町既存建物解体工事】
▽発注者＝フレスコ（千葉市中央区）
▽規模＝2階建て延べ95㎡
▽用途＝住宅
▽場所＝今谷上町48-1
▽元請業者＝日本エコジニア（埼玉県越谷市）
▽届出日＝8月24日

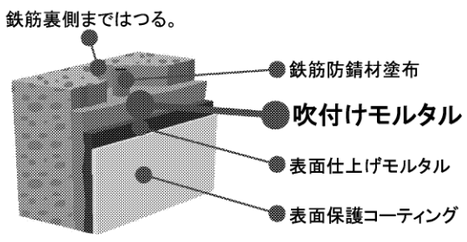
【桜台解体工事】
▽発注者＝東栄住宅（東京都西東京市）
▽規模＝2階建て延べ81㎡
▽用途＝住宅
▽場所＝桜台13-10
▽元請業者＝アイテム（千葉市美浜区）
▽届出日＝8月29日

建物をシステムで
考える立川ハウス

プレハブ建築総合メーカー
施工・リース
社団法人プレハブ建築協会会員
立川ハウス工業株式会社
千葉営業所
千葉市中央区新町24－9　千葉ウエストビル3F
電話　043－243－2902（代）
FAX　043－243－7641

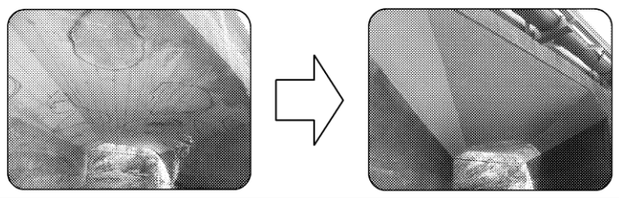
sto　StoCretec
ポリマーセメント乾式吹付工法





NETIS登録
千葉県新技術登録

主な特徴
● 長距離圧送可能。（水平200m垂直150m）
● 振動下の天井面でも厚付け可能。（最大100㎜）
● 鉄筋背面への充填性に優れる。（時速200㎞での吹付け）
● 高い付着力・高密度形成。（母材に強固に付着・変位追従）



日本コンクリート補修・補強協会会員
株式会社 岡部建設
代表取締役社長　小宮山　房信
誠実・実行・感謝！
本社　〒294-0052 館山市亀ヶ原890番地の1
TEL0470-36-2266　FAX0470-36-2268
e-mail:info@okabe-c.co.jp